

# 第 6 次塩竈市長期総合計画進捗報告会 委員からの意見

# 1. 第6次塩竈市長期総合計画進捗報告会の概要

---

## (1) 目的

令和4年4月からスタートした第6次塩竈市長期総合計画の進捗状況等を、第6次長期総合計画、前期基本計画策定時の外部有識者と次世代枠の委員や市民に報告することにより、市民と行政との間で情報の共有を図るもの。

また、しおがま未来創生プロジェクトや報告事業について参加者から意見を聴取することにより、今後の事業への取組（実施事業計画等）に反映させ、同計画の確実な推進につなげるもの。なお、しおがま未来創生プロジェクトは「第2期塩竈市まち・ひと・しごと創生総合」として位置づけている。

## (2) 開催日時

令和5年7月30日（日）	10：00～12：00	塩竈市魚市場
令和6年7月27日（土）	10：00～12：00	塩竈市魚市場
令和7年8月 2日（土）	10：00～12：00	塩竈市魚市場

## (3) 内容

第6次長期総合計画の概要

しおがま未来創生プロジェクトの進捗状況・塩竈らしい100の暮らし

第6次塩竈市長期総合計画成果指標

主要な個別事業の報告

## 2. 委員の意見

### (1) しおがま未来創生プロジェクト

しおがま未来創生プロジェクトの重要目標達成指標（KGI）と4つの実感プロジェクトの数値目標に対して進捗状況を報告し、意見を頂いた。

年度	主な意見
R4	<ul style="list-style-type: none"><li>○概ね目標値を上回る進捗が評価されるが、設問設計の適切性や意識調査の「気分・周囲の影響」に左右される傾向を指摘。より実態に即した質問設計が必要。質問項目の改良には、実態に基づく具体的質問例（例：年間の知人を招いた頻度や人数）を検討すべき。</li><li>○若者の具体的な活躍が見える化する指標設定やイノベーション育成策が求められる。</li><li>○教育と商業の連携策など実施計画域外の連携事業の発展が必要。地域の独自性を活かしたシンボル作成（例：ゆるキャラグッズ）やユニークな施策が鍵になるのではないかと。</li></ul>
R5	<ul style="list-style-type: none"><li>○人口増加を視野に、保育サービスの充実を含むソフト施策の強化が求められる。</li><li>○「機動的・横断的な取組み」を確立するため、庁舎内での勉強会や意識向上策が必要。</li><li>○アンケートによる成果評価の改善余地があり、分析視点の明確化が求められる。</li><li>○目標値を一部上回る進展が評価できる。外部からの移住意識の向上が確認される。</li><li>○老朽施設の整備案や財源確保を戦略的に行う必要あり。</li><li>○実績値の裏付け強化と外部からの意見収集の手法を拡充する必要がある。</li></ul>
R6	<ul style="list-style-type: none"><li>○政府の地方創生政策の変化を受けた対応が必要。人口減少と財源減少を考慮した持続可能な都市づくりを推進。</li><li>○商業、観光分野の強みを活かし、未利用資源のリストアップと民間活力導入の可能性検討が重要。</li><li>○人口減少が予測より緩やかであり、横断的な取組が着実に増加している。</li><li>○地域の「ひと」と「場」に焦点を当てた施策の強化すべき。震災被災者や外国人研修生を巻き込んだ世代間交流をさらに拡大できるとよい</li><li>○広報活動により市民の参加意識を醸成し、一丸となったプロジェクト達成を目指す。</li></ul>

## 2. 委員の意見

### (2) 成果指標

成果指標の進捗状況を報告し、意見を頂いた。

年度	主な意見
R4	<ul style="list-style-type: none"><li>○第6次計画は市民活躍を促進する競争戦略的指標を混ぜながら設計し、内部的な事実判定だけでなく、市民目線の幸福や夢を主軸に取り入れる必要がある。</li><li>○定量データだけでなく、企業のインサイト調査のような定性的データが重要。成果の見える化の工夫が必要。</li><li>○魅力スポットの点を線・面として拡充し、地域全体の活気を促進すべき。指標達成率に応じた分類（①維持目標、②長期目標、③変化目標）による柔軟な評価が望まれる。市民理解を得るための丁寧な報告が重要。</li></ul>
R5	<ul style="list-style-type: none"><li>○「家族・地域・未来」と塩竈らしい暮らしを中心に成果指標を設定するとよい。</li><li>○半数以上が基準値を超え、2割が目標値を達成する進捗状況。</li><li>○分野ごとの細かい突破が評価され、塩竈らしさ（量より質）が鍵とされる。</li><li>○堅さを残し、数値化の難しさやテーマの表現については微調整の対象とすべき。</li><li>○データの質向上や広報における住民参加型の報告会などを構築してもよい。</li></ul>
R6	<ul style="list-style-type: none"><li>○市民目線の「100の暮らし」指標と行政目線の成果指標、それぞれの異なる視点が並行していることが重要。将来的には指標の見直しを検討しつつ、ユニークで塩竈らしい施策として市民に広く周知される内容が必要。</li><li>○約7割の事業化が実現し、達成された指標も多い。市民に暮らしの指針を提供するユニークな取り組みとして評価される。</li><li>○数値目標達成だけでなく、目標達成に向けた具体的な取組内容の継続的な分析と公開が必要。「100の暮らし」を公共施設などに掲示し、市民がその価値を再認識できる環境を整備する。</li></ul>

## 2. 委員の意見

### (3) 主要な個別事業の評価

前年度の事業において動きがあり、施政方針においてあげられた事業を中心に、今後の展望等に対し、意見を頂きたいものを設定した。

分野	R4		R5		R6	
	事業名	評価	事業名	評価	事業名	評価
1.子ども	学習支援推進事業	3.8	塩竈市就学前教育保育施設整備等補助事業	4.5	学校規模の適正化の検討事業	4.5
2.福祉	子どもの学習支援事業	3.7			塩竈市立病院外来棟リニューアル事業	4.3
3.生活	子育て三世代同居近居住宅取得支援事業	3.5			緑と憩い再生事業	4.5
	緑と憩い再生事業	3.2				
4.産業	「みやぎの台所しおがま」推進事業	4.0	門前町活性化事業	3.5		
5.交流	観光プロモーション事業	3.5			ふるさと納税事業	4.3
6.文化	小中学校アートプロジェクト	3.5	アートプロジェクト事業	3.5		
7.協働	新婚さんいらっしやい事業	4.0	国際交流事業	2.8		
8.浦戸諸島	浦戸再生プロジェクト推進事業	3.5	浦戸再生プロジェクト推進事業	3.5	浦戸再生プロジェクト推進事業	3.5

※点数評価（5段階評価 5が最高点とし、委員の平均値を算出）